

喜多方市議会決算特別委員会会議録

令和元年10月15日（火曜日）

午前10時00分 開議

○佐原正秀委員長 皆さん、おはようございます。

出席委員は定足数に達しております。

ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程ですが、初めに平成30年度喜多方市歳入歳出決算及び平成30年度喜多方市水道事業会計剰余金の処分及び決算に対する総括質疑を行います。その後、意見の取りまとめ等を行いますので、よろしくお願いたします。

なお、総括質疑は、これまでの委員会での議論の中で、特に市長にたすべきものについて行うものでありますので、内容を整理され、簡潔・明瞭に質疑されますようお願いいたします。

質疑は一問一答にて行います。

これより質疑に入ります。ご質疑ございませんか。

菊地とも子委員。

○菊地とも子委員 改めまして、おはようございます。

私からまず1点ですが、総務のほうの職員研修事業についておたじいたします。全職員対象者の実務教養研修への各課の参加率が、資料を見ますと大変に少ないんですね。平成29年度ですと、この研修項目も少ないんですが、平成30年度になりますと研修項目がたくさんふえていっているんですね。これはよいことだとは思いますが、ただ、これは職員の研修率がすごく少なく、これは行政サービスの低下になるのではないかとすごく危惧しますし、常にスキルアップしていなければなりませんので、この人数ではすごく少ないと思うんです。また、全然研修に出席していない課もありますので、この辺はしっかりと全員参加できるようなシステム、取り組みをしなければいけないと思うんですが、そこをお聞きいたします。どのように考えているのか伺います。

○佐原正秀委員長 答弁を求めます。

市長。

○市長（遠藤忠一君） 職員研修事業についてお答えさせていただきます。

職員研修につきましては、喜多方市職員研修計画に基づきまして行っているところであり、研修の開催については各所属長を通じて周知を行うとともに、研修便りを発行し、研修予定を早期に周知することなどによりまして、計画的な受講環境づくりを行っているところであります。また、研修の内容につきましては、より魅力的で有意義なものとなるよう、さらに受講するメリットが十分得られるよう毎年内容の見直しを行っておりますけれども、もっとも重要なことは職員の研修への参加意識、これを高めていくことであると思っております。このことによりまして研修の効果がさらなる向上にもつながっていくものと考えております。

今後におきましても、ご指摘もございましたけれども、業務執行に当たり必要な知識、技能の習得はもとより、社会経済状況等の変化、住民ニーズに的確に対応できる高い能力と意欲を持った職員を育成するため、効果的な研修を行うとともに、職員の研修への参加意識の高揚を図り、より多くの職員が積極的に参加できるような計画的な受講環境づくりに努めてまいりたいと思います。

○佐原正秀委員長 菊地委員。

○菊地とも子委員 それは本当に大変重要なことなのですが、全然出席していない、参加していないこの課をどのように捉えているのか。1人、2人の参加のところは情報伝達もできますけれども、このような課はどのように対応していくのか伺います。

○佐原正秀委員長 市長。

○市長（遠藤忠一君） おただしありましたけれども、その課・部によりましては、大変直近の行政課題があって、どうしても研修するのに時間がとれないという部分もあるのではないかなと思っているわけでありますけれども、それでは困るわけでありますので、いわゆる幹部職員がぜひそういったものをチェックしながら、よりスキルアップするような、いわゆる市職員としてのスキルアップするような体制をつくってもらいたいと思いますし、これは市役所全体でやはりそういう意識を醸成していく、研修することによってより喜多方の豊かな行政マンとしての資質が向上すると私も思っておりますので、今後とも今ご指摘ございましたような中で努めてまいりたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

○佐原正秀委員長 菊地委員。

○菊地とも子委員 ぜひ住民サービスの向上と、また市の職員の方々が情熱を持って仕事をさせていただくように今後ともよろしく願いいたします。

以上でございます。